

年頭挨拶

屋久島森林管理署長 木暮甲吉

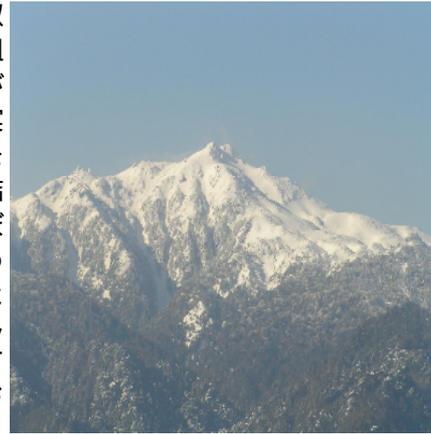
残したい美しい森、伝えたい木の文化

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはご家族共々良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は今世紀最大の「皆既日食」が観られる島も手伝って、洋上のアルプスとも称されるこの屋久島がこれまでに増して脚光を浴びた一年でもありません。

私達は、皆様とともにこの貴重な森林を中心とした世界自然遺産の屋久島を後世に伝えていく義務と責任を背負っています。屋久島森林管理署では、この世界自然遺産地域をはじめとした森林と人のふれあいの場を提供するため風景林（大川の滝、千尋の滝、田代ヶ浜）、自然休養林（ヤクスギランド、白谷雲水峡）などの整備に努めると共に世界自然遺産地域の中核を森林生態系保護地域に指定し多くの自然と貴重な植物種等の適正な管理と保全に努めてきました。

一方、標高の低い通称前岳の国有林においては、森林吸収源対策を目的とした間伐を推進すると共に生業としての林業をも目指してきたこれまでの様々な



宮之浦岳

取組が実を結ぼうとしており、今まさに林業再生に向けた変革の時がやってきています。今年はこのこれまでの取組を集大成し挑戦から定着へとという大事な年にしたいと考えています。

この貴重な屋久島の森林生態系や生物多様性の保全等を地域の皆様と連携しながら下段にあります「次期森林計画（平成二十三年四月一日～平成二十八年三月三十一日）についての屋久島森林管理署の検討方向」に基づき百年先二百年先を見越したものにしたいと考えている次第です。

今年が屋久島町並びに町民皆様の前進の年になりますよう御祈念申し上げ簡単ではありますが新年の挨拶とさせていただきます。

次期森林計画についての屋久島森林管理署の検討方向

公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林整備・保全を行うほか、森林吸収源対策及び生物多様性保全対策として引き続き間伐を推進する方向です。

海岸保安林の保全機能を維持することとし、松食い虫駆除の実施とともに、保全機能の低下した松林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。

貴重な植物種の保護を目的とする保護林の適切な管理とともに、自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、歩道整備等の維持管理を実施する方向です。

森林生態系及び生物多様性の保全を図るため、地域との連携を図りつつシカ被害対策を実施し、併せて誘導伐を活用した循環型の森林づくりを進めるとともに、森林施業の適切な実施により森林の保護・管理に努める方向です。

社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとするボランティア団体等の要請に応えるため、「ふれあいの森」制度を活用して、国民参加による森林づくりを推進する方向です。

生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進し、民・国一体となった技術の向上・定着に努める方向です。

これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。

民有林と連携して効果的な治山対策の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。

